

虐待の防止につながる！

言葉による抑制～スピーチロック～防止研修



この研修は、きょうと福祉人材育成認定制度の支援メニューです

1. 趣 旨

利用者との距離の取り方や声のかけ方は、少し間違えると不快な思いをさせたり、不適切なケアにつながってしまいます。本研修では講義と演習を通して適切な支援と言葉がけを学び、利用者の尊厳保持や虐待防止の実践につなげることを目的に開催します。

2. 主 催

社会福祉法人京都府社会福祉協議会 京都府福祉人材・研修センター

3. 受講対象(全職員向け)

福祉施設職員及び市町村社会福祉協議会職員

4. 開 催 日 程

	日 時	開催方法	定員
オンライン	令和7年1月17日(金) 13:20～16:40	ZOOM オンライン	60名

※研修にブレイクアウトルームによるグループワークが予定されているため、一人一台のPCのご用意をお願いします。複数のお申し込みによるPCの台数準備が難しい場合は事務局へご相談ください。

※オンライン環境の準備をお願いします。(府社協でのオンライン会場の準備はございませんので各事業所、各自で準備をお願いします。Wi-Fiよりもランケーブルをつないでの受講を推奨します。)

※同じ事業所から複数で受講する場合は、できるだけ離れて受講してください。

※ZOOMを最新バージョンに更新をお願いいたします。(古いバージョンのZOOMでは画面が消える、音声が届かないなどのトラブルが報告されております。)

5. 受 講 料

会員・非会員の区分	受講料
京都府社会福祉協議会 会員 施設・事業所職員	受講者1名につき、 3,000円(資料代を含む)
京都府社会福祉協議会 非会員施設・事業所職員	受講者1名につき、 6,000円(資料代を含む)

*京都府社会福祉協議会の会員加入の方法については(075)252-6291までお問い合わせください。

6. 指 導 講 師

清水 径子 氏 九州医療科学大学 社会福祉学部 臨床福祉学科 准教授

スピーチロック、高齢者虐待、身体拘束について研究。
論文「スピーチロック時における介護老人福祉施設職員の感情・思い」
MISC「福祉の現場から 介護老人福祉施設におけるスピーチロック廃止の現状と取り組み」等を執筆

7. プログラム ※内容は変更することがあります。

13:20～13:30	開会挨拶・オリエンテーション
13:30～16:30 (途中休憩を含む)	【講義】 ・虐待とは ・対象者を理解して接する ・スピーチロックとは 【演習】 ・自分たちの声かけを振り返る ・言い換えの練習 ・まとめ(施設での防止対策含む)
16:30～16:40	アンケート回答、閉会 ※内容は変更になる場合があります

8. 申込方法等

(1) **グーグルフォーム**(<https://forms.gle/BzpnBmjyko2Jg5oQ8>)または、「右記二次元コード」申込フォームより、**11月22日(金)17:00** までに必要事項を御記入の上、お申し込みください。(必須項目は必ず入力してください。)(但し、土日祝の電話の受付はできません。)



(2) 受講いただける方には、**12月初旬**までに「受講決定通知書」を送付いたします。期日までに通知が届かない場合、下記連絡先までご連絡ください。

(3) 受講料は受講決定通知書に同封する「ゆうちょ銀行・払込取扱票」により **12月20日(金)**までにお支払いください。払込手数料は御負担願います。なお、**受講の事前取消し、当日の欠席の場合でも、払込後の受講料はお返しいたしませんので予め御了承願います。**

(4) 個人情報取扱:「受講申込書」記載の個人情報は、当研修の適正かつ円滑な実施の目的のみに利用いたします。

9. その他

【課税対象研修】

この研修は課税対象研修です。インボイス適格請求書が必要な場合は、研修申込時に申込フォームから申請してください。(8. 申込方法等のグーグルフォーム内に申請項目がございます。)

【領収証】

すべての研修で領収証の発行は行っていません。

【実施機関】 京都府社会福祉協議会 京都府福祉人材・研修センター
研修課 (担当:八木 mail:h-yagi@kyoshakyo.or.jp)

■ TEL:075-252-6296 FAX:075-252-6312

■ 〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町 375 ハートピア京都地下1階
